

# 施策評価シート【重点施策】

## 個別施策Ⅳ－（３）

### 交通安全対策を推進する

#### 基本的な方向性

事故から身を守ることができるよう、交通ルールの遵守や自転車マナーの向上を図り、市民の交通安全意識を高めるとともに、日常の移動手段として多くの人に利用されている自転車の安全な走行環境をつくります。

#### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					31年度 目標値	進捗 状況
		計画 策定時	27年 度	28年 度	29年 度	30年 度		
交通安全教室の開催数【年間】	件	200	222	215	222	224	210	A
平塚駅 3km 圏の自転車ネットワーク整備率【累計】	%	3	6	12	18	24	33	B

#### 施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- 交通安全対策として、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした交通安全教室や関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンを実施し、交通安全意識の啓発を図ったことにより、交通事故発生件数は減少傾向にあります。
- 「平塚市自転車利用環境推進計画」に基づき自転車通行帯の整備を行い、自転車走行環境の向上を図りました。

### 施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・交通事故発生件数において、高い割合を占めている自転車事故をはじめとした交通事故発生を抑制する必要があります。
- ⇒今後も継続して地域や警察をはじめとした関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンや、幅広い年齢層を対象とした交通安全教室の開催を通じ、交通安全意識や自転車マナーの向上を図ります。
- ・限られた道路空間において自転車通行帯の整備を行うことから、利用実態や費用対効果等を見極めながら整備形態を選定する必要があります。
- ⇒自転車の安全な走行環境を向上させるため、平塚市自転車利用環境推進計画の整備方針に基づき、個別路線について、警察協議や地元調整を踏まえ、設計及び整備を実施します。

### 関連する【取組】と（事業）

【交通安全対策の推進】（交通安全啓発推進事業）

【自転車を利用しやすい環境づくり】（自転車通行帯整備事業）